

都市再生整備計画 事後評価シート
裏磐梯地区

平成30年4月

福島県北塩原村

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福島県		市町村名	北塩原村		地区名	裏磐梯地区			面積	850ha			
交付期間	平成25年度～平成29年度		事後評価実施時期	平成29年度		交付対象事業費	596.6百万円	国費率	38.40%					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名											
			基幹事業	多目的交流施設整備事業、スポーツ公園整備事業、拠点駐車場・広場整備事業、村道整備事業										
	当初計画から削除した事業		事業名											
			提案事業	地域協議体活動事業、公共棧橋整備事業										
	新たに追加した事業		事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
			基幹事業	多目的交流施設整備事業			活用予定だった施設の老朽化が激しく、補強費用等が当初の見込み以上となったため。			無し				
交付期間の変更		当初		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響							無し			
		変更									無し			
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	観光客入込者数	万人/年	257	平成24	280	平成28	モニタリング	評価値	282	○	あり	観光客が必ず立ち寄る五巴沼周辺にトイレ・休憩室を整備したことにより、観光客の周遊性が向上した。	
	指標2	道路交通量	台/12h	3,661	平成24	4,100	平成28		6,036	○	あり	トイレ・休憩室前に大型駐車場が整備され、裏磐梯地区全体の駐車容量が増加したことにより、円滑な交通に貢献した。		
	指標3										あり			
	指標4										あり			
	指標5										あり			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1													
	その他の数値指標2													
	その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況														
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等						
	モニタリング		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											
	住民参加プロセス		まちづくり活動推進事業における住民参加(ワークショップ)		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●					
	持続的なまちづくり体制の構築		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											

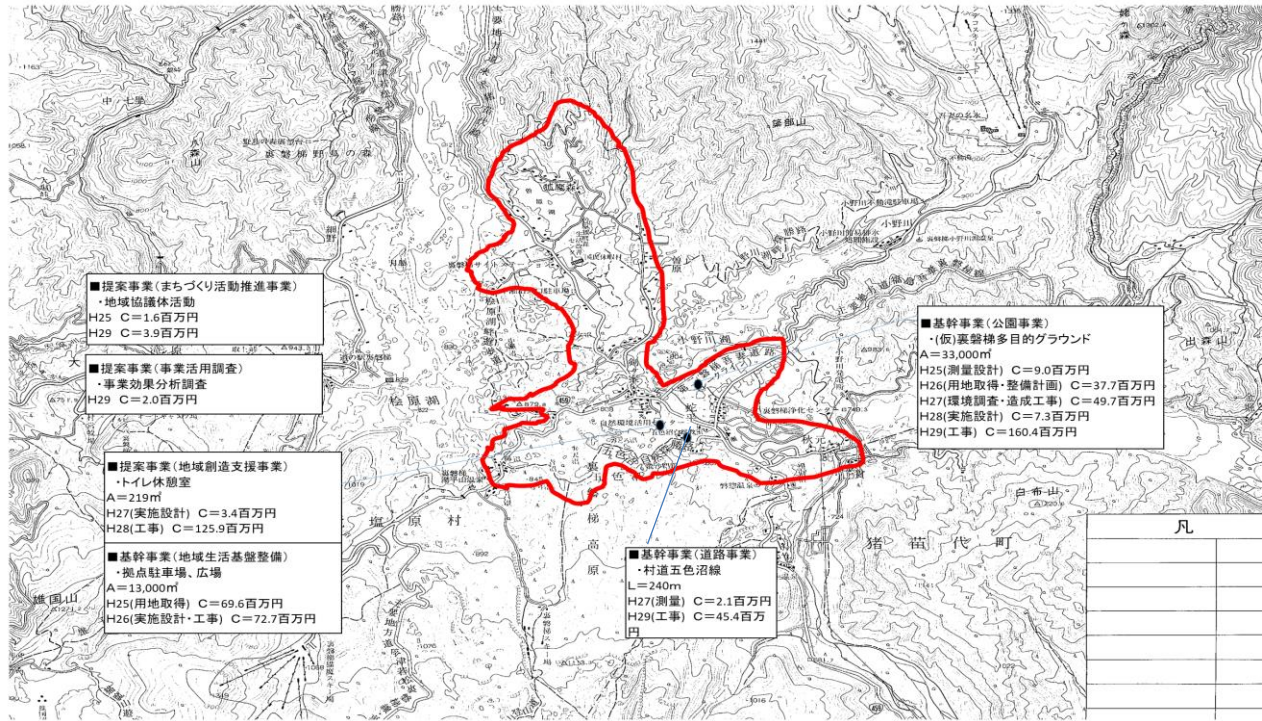
様式2-2 地区の概要

裏磐梯地区(福島県北塩原村) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
【大目標】 湖を核とした新たな観光ブランドの確立と観光施設の再整備によるおもてなしの観光地・裏磐梯の形成 ＜目標1＞ 風評被害の払しょくによる震災前水準への観光客入込数の回復 ＜目標2＞ 観光基盤施設の整備による魅力あるツーリズム活動が可能な観光地づくり ＜目標3＞ 村民・観光客に安全・安心な観光地づくり	観光客入込者数	単位: 万人/年	257 H22	280 H29	282 H28
	道路交通量	単位: 台/12h	3,661 H22	4,100 H29	6,036 H28
		単位:	H	H	H
		単位:	H	H	H
		単位:	H	H	H



五色沼入口観光プラザ
(拠点駐車場・広場・トイレ・休憩室)



(仮)裏磐梯多目的グラウンド
(公園事業)

凡

まちの課題の変化
 ・本事業により整備した五色沼入口観光プラザや(仮)裏磐梯多目的グラウンドの活用など、観光需要の掘り起こしによる通年観光の推進
 ・行政や民間事業者、住民が一体となった観光まちづくりの推進

今後のまちづくりの方策
(改善策を含む)

・住民と観光客の交流機会の提供
 ・五色沼入口観光プラザを核とした観光拠点の機能強化
 ・地域コミュニティ拠点の機能強化

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1ー① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		○			
B. 目標を定量化する指標		○			
C. 目標値		○			
D. その他()		○			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	村道五色沼線	60	五色沼に続く村道を 拡幅	48					○
公園	スポーツ公園	220	多目的グラウンドを 整備	264					○
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	拠点駐車場・広場整備	200	廃ホテル跡に駐車場 と公園を整備	145				○	
高質空間形成施設									
高次都市施設									
既存建造物活用事業	多目的交流施設	480	休暇村旧館を多目的 ホールや避難場所として 整備	0		事業の削除			
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指 標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの 有無		
			基準 年度		基準 年度		目標 年度						あり	なし		
指標1	観光客入込者数	万人/年	福島県観光客入込状況調査		257	H24	280	H28	モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定見込み	○	282	事後評価	○		
指標2	道路交通量	台/12h	全国道路・街路交通情勢調査		3,661	H24	4,100	H28	モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定見込み	○	6,036	事後評価	○		
指標3									モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定見込み			事後評価			
指標4									モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定見込み			事後評価			
指標5									モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定見込み			事後評価			

指 標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	観光客が必ず立ち寄る五色沼周辺に五色沼入口観光プラザ内にトイレや休憩室、観光案内コーナー等が整備されたことにより、観光客の周遊性が向上したものと考え。	
指標2	五色沼入口観光プラザ前に大型駐車場が整備され、裏磐梯地区全体の駐車容量が増加したことにより、円滑な交通に貢献したものと考え。	
指標3		
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○ : 評価値が目標値を上回った場合

△ : 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

× : 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
			基準 年度		基準 年度						
その他の 数値指標1							モニタリング				
							事後評価	確定	見込み		
その他の 数値指標2							モニタリング				
							事後評価	確定	見込み		
その他の 数値指標3							モニタリング				
							事後評価	確定	見込み		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
まちづくり活動推進事業における住民参加 (ワークショップ)	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	● 【実施頻度】 平成30年2月22日(木) 1回開催 【実施結果】 裏磐梯地区における観光まちづくりをテーマとしたワークショップを開催し、地域住民より都市再生整備事業で整備した施設の利活用方法等について意見を伺った。	
	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名・組織の概要	
	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織	総務企画課企画室 建設課 商工観光課	平成30年1月	総務企画課企画室

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		指標2		指標○		指標○	
指標名		観光客入込者数		道路交通量					
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	村道五色沼線	△	観光客が必ず立ち寄る五色沼周辺に新たにトイレや休憩室、観光案内コーナーが整備されたことにより、観光客の周遊性が向上したと考えられる。また、原発事故に伴う風評被害払拭に向けた各観光施設の取組や、お得な宿泊補助券「裏磐梯ハッピートラベルチケット」の企画・販売なども、目標値を上回った要因と考えられる。	△	大型駐車場が整備され、裏磐梯地区全体の駐車容量が増加したことにより、円滑な交通に貢献したものと考えられる。また、平成25年7月より、村内等が路線に含まれる観光有料道路3路線が恒久的に無料開放されたことも交通量増加の要因と考えられる。				
	(仮)裏磐梯多目的グラウンド	△		△					
	拠点駐車場・広場	◎		◎					
提案事業	拠点駐車場付随施設整備(トイレ・休憩室)	◎		○					
	地域協議体活動(まちづくり活動推進事業)	○		—					
	事業効果分析調査	—		—					
関連事業									

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	五色沼入口観光プラザや(仮)裏磐梯多目的グラウンドなどの利活用により、さらなる観光客の獲得につなげる。	五色沼入口観光プラザを拠点として観光客の周遊性の向上を図る。		
-------	---	--------------------------------	--	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標○			指標○			指標○			指標○		
指標名													
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業													
提案事業													
関連事業													

※目標未達成への影響度

- ××：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △：数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- ー：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)			
------------------	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
まちづくりワークショップ	行政区長、裏磐梯観光協会、NPO法人裏磐梯エコツーリズム協会、裏磐梯ビジターセンター、村内宿泊施設経営者	平成30年2月22日(木)	総務企画課企画室

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
原発事故に伴う風評被害により観光客数の減少	・五色沼入口観光プラザが整備され、五色沼周辺の散策がしやすくなり、観光客の増加につながった。		
駐車場の容量問題から周辺の道路で渋滞が発生し、観光客の円滑な流れが確保できない	・新たな駐車場の整備により、駐車場不足の解消や慢性的な渋滞の緩和が図られた。		

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	都市再生整備事業で整備した施設の利活用	五色沼入口観光プラザを拠点とした裏磐梯地区の観光周遊ルートの確立	・新たな駐車場の整備 ・ワークショップの開催などにより多様な意見の集約

B欄 改善策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点		
	うまく いかなかった点	目標数値は達成できたが、都市再生整備事業以外の要因も大きかったため、本事業が目標達成にどの程度寄与したか正確に把握することが難しかった。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	観光産業に携わる方をワークショップのメンバーに加えたことで、裏磐梯地区における観光振興の課題や具体的な解決策等を確認することができた。	
	うまく いかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		

添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	村ホームページ	平成30年3月19日(月)	1週間	電話、FAX、メール	総務企画課企画室
広報掲載・回覧・個別配布					
説明会・ワークショップ					
その他					

住民の意見	特になし				
-------	------	--	--	--	--

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員		未実施			
その他の委員					

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	
	成果の評価	
	実施過程の評価	
	効果発現要因の整理	
	事後評価原案の公表の妥当性	
	その他	
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	
	フォローアップ	
	その他	
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	
その他		

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署
	未実施	

有識者の意見	
--------	--

都市再生整備計画

うらばんだい
裏磐梯地区

ふくしま 福島県 きたしおばらむら 北塩原村

平成29年7月

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・【整備方針1】観光入込客数・宿泊者数の回復のための受け皿となる観光施設等の整備</p> <p>裏磐梯の安全・安心をアピールを推進し、美しい自然景観と共生する観光施設を活用するとともに、特色を生かした新たな観光資源を発掘する。季節ごとに開催されるイベントは屋外での実施が多く、多目的広場を整備することで、合宿誘致など宿泊者数の増加が見込まれる。</p>	<p>【基幹事業】 スポーツ公園整備事業</p> <p>【提案事業】 地域協議体活動事業</p> <p>【関連事業】</p>
<p>・【整備方針2】多くの観光客が集まる観光拠点での基盤施設の整備</p> <p>裏磐梯の玄関口・顔である「五色沼」周辺の再整備と交通環境の改善を図り、観光地にふさわしい拠点づくりを進める。このため景観を阻害する建築物を取り壊し広場を整備し、五色沼周辺の散策者の憩いの空間を整備するとともに、新たな駐車場の整備、道路再整備及び関連事業による交差点改良を実施し、交通の円滑化を図る。</p>	<p>【基幹事業】 拠点駐車場整備事業・広場整備事業 村道整備事業(五色沼線)</p> <p>【提案事業】 地域協議体活動事業、拠点駐車場付随施設整備</p> <p>【関連事業】</p>
<p>・【整備方針3】村民が安全に暮らせ、観光客が快適で安心して訪れることのできるむらづくり</p> <p>東日本大震災を教訓とした新たな地域安全対策として、緊急時の避難場所にも活用できる観光施設を整備する。関連事業として老朽化した防災無線をデジタル化して再整備することによって、村民及び観光客の安全を確保する。</p>	<p>【基幹事業】 (スポーツ公園整備事業)</p> <p>【提案事業】 地域協議体活動事業</p> <p>【関連事業】</p>
<p>その他</p>	

